

暮らしのなかに

一人一人が少し工夫するだけで、誰かの優しい暮らしにつながります。できることから一つずつ、暮らしのなかに取り入れてみませんか。

富士山を守り未来につなぐ

エス ディー ジー ス

富士山SDGs

富士宮市に住む私たちが、これからもずっとこのまちで住み続けるためにみんなで取り組む目標です。

できることから一つずつ、一人一人が意識して行動しましょう。

ここでは富士宮市の取り組みを紹介します。



12 つくる責任
つかう責任



私たちは生活の中で、たくさんの物を生産、消費しています。過剰な物の生産や消費は「エネルギー資源の枯渇」や「食品ロス」につながります。

つくる側とつかう側、それぞれが責任を意識し、行動することが大切です。

食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」や、ごみを減らすために、3キリ運動を呼び掛けています。

使いキリ (必要な分だけ買う。残った料理をアレンジする。)

食べキリ (食べる分だけ作る。残さない。)

水キリ (生ごみの水を絞って捨てる。ごみを濡らさない。)

富士宮市のSDGsへの取り組みを市公式ウェブサイトで紹介しています。

HP [トップページ](#)>[富士宮市について](#)>[市政の運営](#)
>[推進事業](#)>[地方創生に向けたSDGs](#)



エコ・クッキング講座



エコ・クッキングは、東京ガス㈱の商標登録です

市では、事業者の協力を得て、「エコ・クッキング講座」を開催しています。普段は捨ててしまう野菜の皮や茎、魚の頭を使って調理したり、汚れた調理器具を要らない布で拭きとってから洗うなど、「買い物・料理・食事・片付け」の過程で、食品ロスや電気・ガス・水などの使用量を減らす方法を学びます。